

令和8年度 センター研究推進校およびデータ分析WG 協力校の募集について

山梨県総合教育センター

山梨県総合教育センターでは令和8年度も引き続き、学校が進める校内研究に対して伴走支援し、研究主題や目指す児童生徒像等の実現のために、学校と協同研究を推進していきます。

- 本センターの伴走支援は、研究領域（チーム）の専門性を生かしながら、学校や先生方のニーズに応じた校内研企画支援と、学校の研究主題に基づく効果的な取組の実践検証の両面で支援する。
- 今日的な教育課題への効果的な対応を、センター研究推進校への支援を通じて見出し、具体的実践例を県下に情報提供する。（研究大会）
- センター研究推進校との共同研究を、本センターにおける調査研究・研修・情報教育・相談支援等の業務に生かし、その機能の充実に繋げる。
- データ分析ワーキンググループについては、各種学力調査の結果分析を基に、山梨大学と連携し、授業力向上を目指した実践的な支援を行う。

以上の趣旨から、本センターの指導主事の支援のもとで、校内研究を進める学校（センター研究推進校）およびデータ分析WG 協力校を募集します。

研究大会において各領域（チーム）の研究内容の詳細をご覧いただき、本センターの研究支援を希望される場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

1 令和8年度に募集する研究領域・校種・校数・期間

「授業づくり・学校づくり」領域

- ◇センター研究推進校として、中学校1校・高等学校1校を募集します。（小学校はR9に募集予定）
- ◇データ分析WG 協力校として、小学校または中学校1校を募集します。
- ◇期間：令和8～9年度の2年間
- ◇本センターの研究大会（2月実施予定）にて、領域（チーム）の発表の中で研究の成果等をお話しいたきます。
- ◇小中連携として中学校区で取り組むご希望がある場合は、その旨もご記入ください。

<研究内容の例>

- 新しい時代の学校教育の実現に向けた職員の授業観の転換、授業の改善・充実
 - ・子供主体の授業への転換
 - ・「探究的な学び」や「教科等横断的な学び」に向けたカリキュラム改善
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・指導と評価の一体化による学習評価の改善 等
- 校内研究の充実・活性化、新たな教師の学びの姿
 - ・ICTの利活用
 - ・カリキュラム・マネジメントの充実、PDCAの確立
 - ・教員の協働意識の醸成
 - ・研修観の転換 等

2 令和8年度 募集の流れ（問合せ窓口：本センター 調査研究課）

※研究内容や支援の内容についてお気軽にお問い合わせください。

- ① 3月6日（金）までに学校長の承諾のもと、「研究支援希望連絡票」（様式1）を以下へメールにて送信してください。
- ②（様式1）を受領後、本センターより当該校の担当者へ「研究計画書」（様式2）の提出案内を行います。
- ③提出書類等による審査、関係機関との協議等を経て、3月下旬までに当該校へ結果を通知します。

連絡先：調査研究課メールアドレス：ypec-chouken@kai.ed.jp（TEL：055-262-6180）

(様式1)

※鑑不要 本票のみメールにてお送りください

令和8年度 山梨県総合教育センター研究支援希望連絡票

《提出期限 3 / 6 (金)》

1 学 校 名 _____

2 校 長 名 _____

3 所 在 地 (〒 _____) _____

4 連 絡 先 TEL _____

学校代表メール _____

5 この件についての校内担当者（役職または校務分掌）

氏名 _____ (_____)

6 令和8年度校内研究主題または研究の方向性

7 希望する研究領域 ※どちらかに○をお付けください。

① 研究推進校（校内研究への支援） ② データ分析 WG 協力校（授業改善への支援）
中学校 ・ 高等学校 小学校 または 中学校

8 研究支援を希望した主な理由（箇条書き可）

※この（様式1）を本センターのウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入の上、
下記 調査研究課担当メールアドレスにお送りください。
受領確認後、学校代表メール宛に、メールにて連絡いたします。

調査研究課メールアドレス：ypec-chouken@kai.ed.jp

(様式2)

研究計画書 (A4 表 1 枚以内)

令和 年 月 日

学校名		校長名	印
所在地	〒		
連絡先	TEL e-mail		
児童生徒数	※R8年度見込数 1年() 2年() 3年() 4年() 5年() 6年() 合計()		
教職員数	()名 ※R8年度見込数	令和7年度 研究主任名	
令和7年度 研究主題			

1 研究領域 (どちらかの番号に○)	「授業づくり・学校づくり」 ① 研究推進校 ②データ分析 WG 協力校
2 1を選択した理由	
3 令和8年度 研究概要(見込)	
4 令和8年度 研究の構想・計画	
5 その他 (留意点・質問)	・ ・

研究計画書 (A4 表 1 枚以内)

令和	年	月	日
学校名		校長名	印
所在地	〒		
連絡先	TEL e-mail		
児童生徒数	※R8年度見込数 1年() 2年() 3年() 4年() 5年() 6年() 合計()		
教職員数	()名 ※R8年度見込数	令和7年度 研究主任名	
令和7年度 研究主題			

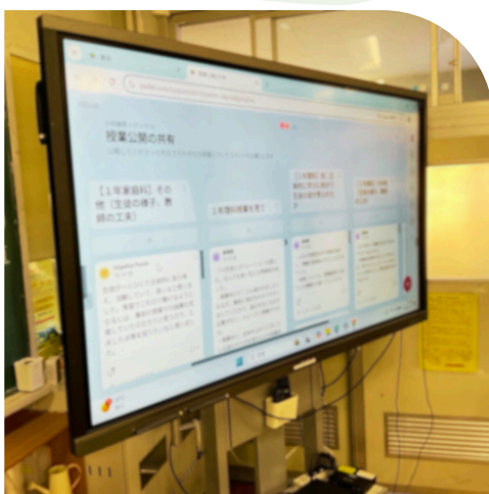
1 研究領域 (〇をつけてください)	「授業づくり・学校づくり」 研究推進校 ・ データ分析 WG 協力校
2 1を選択した理由・留意点	(例) 本校は～～ 主体的・対話的で深い学びの授業の実現のために、総合教育センターの支援のもと、研究推進していきたいと考えている。
3 令和8年度 研究概要 (見込)	(例) 来年度は、全国学力・学習状況調査の結果分析から、本校の経年的課題を～ 授業改善を計画的に図るために、総合教育センターの支援のもと、研究推進を進めていきたいと考えている。
4 令和8年度 研究の構想・計画	(例) 4月 研究主題・仮説・研究内容・研究計画 5月 学習会 6月 提案授業 7月 授業研究 8月 研修会 9月 ブロック研究 10月 授業研究会 11月 拡大校内研究会 (※公開予定) 12月 研究のまとめ 1月 アンケート結果分析 2月 研究の総括 ※1年間のみの表記で OK
5 その他 (留意点・質問)	・ ・

研究推進校 募集

総合教育センター 中学校チーム

指導主事が

校内研究をサポートします



具体的には…

研究推進校の要望に合わせた

- ・ 研究授業の支援
- ・ 学習会の支援
- ・ 教員の自律的な学びへの支援
- ・ 研究主任への支援
- ・ 相談支援センターとの連携
- ・ ICT教育支援センターとの連携
- ・ 山梨大学との連携

Q&A

Q：必ず拡大校内研は行うの？

A：2年目に、センター支援の下で実施します。（1年目は任意）

Q：授業づくりから悩むこともあるんだけど…

A：各教科の指導主事がメール等で事前の相談に対応します。

Q：教科等の授業以外の学習会の支援はできるの？

A：ICT教育支援センターや相談支援センターから講師を派遣することができます。

Q：管理職ならではの相談は？

A：アドバイザー（管理職）が対応することも可能です。

お問い合わせは調査研究課まで



055-262-6180

研究推進校 募集

総合教育センター 高等学校チーム

指導主事が学校のニーズに
寄り添いながらサポートします



具体的には…

研究推進校の要望に合わせた

- ・探究的な学びの推進に向けたサポート
- ・授業づくりに寄り添うサポート
- ・学びのコミュニティづくりのサポート
- ・総合的な探究の時間の充実に向けたサポート
- ・センターのノウハウを生かした学習会づくりのサポート
- ・ICT教育支援センターとの連携
- ・相談支援センターとの連携
- ・山梨大学との連携

研究推進校の先生方からの声

- ・グループワークの活動を有意義に進める方法がわかった。
- ・様々な考え方や実践方法を学ぶことができた。
- ・生徒の成長や変容を実感することができた。

お問い合わせは調査研究課まで



055-262-6180

研究協力校 募集

総合教育センター データ分析 ワーキンググループチーム

山梨大学と総合教育センターによる
高い専門性を生かしたデータ分析から
授業の改善・充実へとつなげていきます



具体的な支援

- ・全国学調の早期採点・結果分析
- ・学習会講師及び講師派遣
(山梨大学教授等)
- ・授業及び学習指導案の助言
- ・授業改善に関わる資料提供
- ・その他 支援に関する要望等

協力校の先生方の 意識や行動の変化

- ・分析結果から授業づくりを行う意識が高まった。
- ・全国学調の問題を見ながら本校の課題を学校全体で検討することができた。
- ・生徒のつまづきを考えることができた。

お問い合わせは調査研究課まで



055-262-6180